

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

Japanese Utility Model Laid-Open No.54-151326

Laid-Open : October 20, 1979

Filed : April 13, 1978

Title : PICK FOR A GUITAR

- (1) A pick for a guitar provided with two nails A and B fitted to both ends of a belt C.
- (2) A pick for a guitar according to claim 1, wherein an inlet 1 and an Outlet 3 are provided in the nail A and a protruding portion 4 is provided in the belt C.
- (3) A pick for a guitar according to claim 1, wherein an inlet B and an Outlet 3 are provided in the nail A and a stopper 8 is provided in the belt C.
- (4) A pick for a guitar according to claims 2 and 3, wherein a sponge 10 or the like is adhered to the belt C.



実用新案登録願

昭和53年4月12日
昭和53年4月13日差出

特許庁長官殿

1. 考案の名称 ^{フリガナ} ギター用ピック。

2. 考案者

^{フリガナ}
住所 (居所)

(実用新案登録出願人に同じ)

^{フリガナ}
氏名

3. 実用新案登録出願人

郵便番号

165

^{フリガナ}
住所 (居所)

東京都中野区新井3-36-3

石田荘203号

^{フリガナ} (法人にあっては名称)
氏名 (および代表者の氏名)

勝間田善則



4. 添付書類の目録

- (1) 明細書
- (2) 図面
- (3) 願書副本
- (4) (

1 通 特許庁
1 通
1 通 53.4.14
通)

方 式
審 査



53 043812

54-151326

明 細 書

1. 考案の名称 ギター用ピック。

2. 実用新案登録請求の範囲

1 二つのつめ(A)(B)をベルト(c)の両端に取り付けたギター用ピック。

2 つめ(A)に差し込み口(1)と抜け口(3)を設けベルト(c)に突起部分(4)を設けた実用新案登録請求の範囲外1項記載のギター用ピック。

3 つめ(A)に差し込み口(6)と抜け口(3)を設けベルト(c)に止め口(8)を設けた実用新案登録請求の範囲外1項記載のギター用ピック。

4 ベルト(c)にスポンジ(10)等を附着させた実用新案登録請求の範囲外2項及び外3項記載のギター用ピック。

3. 考案の詳細な説明

この考案は、ギターをコード・ストローク奏法にて演奏する場合に用いるフラット・ピック(1)とフィンガー奏法にて演奏する場合に用いるサム・ピック(4)とを、兼用して使用できるように、大小二つのつめA、Bを、ベルトCの両端に取り付け、

大きいつめ A の差し込み口 (1) に小さいつめ B を通して、親指に巻きつけられるようにしたギター用ピックに関するものである。

従来、フラット・ピック (イ) は、オ 1 図のような形をしていて親指と人さし指との間にはさんで持ち、できるだけ指先の力を抜いて演奏していたが、汗ですべつてしまつたり、演奏中にどこかに飛んでしまつたりすることがあり、携帯保持に関しても失くしやすいものであつた。

また、オ 2 図のようなサム・ピック (ロ) に関しても、親指にはめてみて、びつたりとするものを選んでしたが、使用しているうちに指と合わなくなつてゆるんでしまつたり、反対に指が差し込めなくなつたりすることがあつた。

本考案は、上記のようなピックに関する欠点を改善するとともに、本考案のギター用ピックひとつで、従来のフラット・ピック (イ) とサム・ピック (ロ) の両方を兼用できるようにしたもので、フラット・ピック (イ) として使用する場合には、演奏中に失くさないように親指にかるく巻きつけ、サム・

ピック(回)として使用する場合には、親指に、しつかりと固定されるところまでベルトCを締め付けられるようになつてゐるわけで、これを図面について説明すれば…

オ 3 図は、本考案のオ 1 実施例であるが、合成樹脂を平板状に形成し、ベルト部分Cの両端に、先端をつめ型にカットした大きいつめAと小さいつめBを設け、大きいつめAには、十字形の差し込み口(1)とその四方に必然的に形成される鉤形の突起部分(2)(2')と三角形の抜け口(3)を設けている。

他方の小さいつめBは、大きいつめAよりも厚さにおいては、うすく形成され、大きさにおいては、大きいつめAの十字形の差し込み口(1)及び三角形の抜け口(3)を通り抜けることができる大きさになつてゐる。

ベルト部分Cは、両脇を、のこ歯状にした突起部分(4)が、規則的に配置されていて、大きいつめAの十字形の差し込み口(1)及び三角形の抜け口(3)を、小さいつめBとともに通り抜け、大きいつめAの鉤形の突起部分(2)(2')に、のこ歯状の突起部分

(4)が引つ掛つて固定されるようになつてゐる。

従つて、本考案のギター用ピックを、フラット・ピック(1)として、コード・ストローク奏法に使用せんとするときには、そのまま、大きいつめAもしくは、小さいつめBを親指と人さし指との間にはさんで演奏するか、才4図のように、大きいつめAの十字形の差し込み口(1)に小さいつめBを差し込んで通し、親指にかるく巻きつけてから、つめAを親指の腹にして、才5図に示すような状態で演奏する。この場合、大きいつめA及び小さいつめBのどちらを使用してもよいわけであるが、つめAは大きく、厚くできていて固く、つめBは小さく、うすくできていて柔らかいので、使用者の好みの音質や弾きやすさ及び弦の剛柔によつて自由に使い分けることができるという特徴をもつてゐる。

また、サム・ピック(2)として、フィンガー奏法に使用せんとするときには、才4図のように、大きいつめAの十字形の差し込み口(1)に小さいつめBを差し込んで通し、ベルトCを親指に巻きつけ

てからしつかりと固定するところまで締め付けたところで、つめAの先端方向に位置する鉤形の突起部分(2)に、ベルトCの、のこ歯状の突起部分(4)を引つ掛けて、固定させ、そのまま、才4図の状態、つめAを親指の背にして、演奏するわけであるが、多少すべりがちであるとか、指となじまずに、ゆるむ場合には、一旦指からはずし、十字形の差し込み口(1)に、再度、上から小さいつめBを通し、抜け口(3)をくぐらせて、外側に引き出し今度は、つめAの後方に位置する鉤形の突起部分(2)に、ベルトCの、のこ歯状の突起部分(4)を引つ掛けて、頑強に固定させてから親指に差し込み、才6図に示すような状態で演奏するものである。

この場合には、才4図よりも、ベルトCの厚み分だけ、内輪部がせまくなっているわけで指にしつかりと納まり、なおかつ、ゆるみも生じさせないわけである。また、才5図のような、フラット・ピック(1)としての使用方法の時のように、つめAを親指の腹にしても演奏できるわけで、弦に触れる角度や使用者の弾きやすさに応じて使い分け

ができるようになってゐる。

また、本考案の才 1 実施例のギター用ピックの
つめ A に、十字形の差し込み口 (1) を設けたのは、
上記のように、固定度合の強化をはかるためのも
のであるが、その方法としては、十字形に限るわ
けではなく、これ以外にも、いろいろと考えられ
る。例えば、才 7 図のように、つめ A に、凸字形
の差し込み口 (5) (5') を二つ、背中合わせに設けても
いいわけである。

才 8 図は、本考案の才 2 実施例であるが、つめ
A に H 字形の差し込み口 (6) と必然的に形成される
突起部分 (7) (7') を設け、ベルト部分 C を単なる帯状
に形成し、その中央に、つめ A の突起部分 (7) (7') が
差し込める大きさの長方形の止め口 (8) を規則的に
配列したもので、つめ A の H 字形の差し込み口 (6)
に、つめ B を差し込み、親指にしっかりと巻きつ
けてから、つめ A の突起部分 (7) をベルト C の長万
形の止め口 (8) に差し込み固定させるものである。

また、さらに、しっかりと固定したい場合には、
才 1 実施例の場合と同様に操作し、つめ A の突起

部分(7)をベルトCの止め口(8)に差し込み二重に固定させるわけである。この場合にもオ9図のように、つめAに凹字形の差し込み口(9)(9')を、二つ、背中合わせに設ければ同じ効果が期待でき、他にもいろいろと方法が考えられる。

オ10図は、本考案のオ3実施例であるが、ベルト部分Cの裏側すなわち、ベルトCを親指に巻きつけた場合の内側に、接着剤等を使用して、スポンジ(10)などの摩擦効果の高い物質を付着させ、すべり止め強化をはかつつたもので、スポンジ(10)は、ベルトCの裏面全部に付着させてもいいし、オ10図のように、中央に一直線でも、また、一部分でもかまわない。

このオ3実施例は、オ1、オ2実施例に応用できるものである。

以上のように、本考案のギター用・ピックは、オ1図のフラット・ピック(1)及びオ2図のサム・ピック(2)の両方を兼用して使用することができ、従来のフラット・ピック(1)のように演奏中にすべつて指からはずれることはなく、しかも、二つの

つめ A・B を持つているので、使用者の好みの音質や弾きやすさによつて使い分けることができ、サム・ピック(回)としても、その使用過程に於て、指と合わなくなつたりすることもないわけであり、さらには、つめ A を親指の背と腹に、移動させることによつて、弦に触れる角度を調節・変更し、使用者に、弾きやすさを提供させるものであり、その携帯保持に関しても、使用後に、弦に巻きつけて止めておけば使用の際に、あれこれと捜す手間が省け、喪失防止にもつながる便利なものである。

また、本考案のギター用ピックは、主材料として、合成樹脂等を使用しているので、ソフトで弾きやすく、従つて柔らかくまろやかな音色が得られるものである。

なお、この材質に関しては、弾力性及び柔軟性が高く、自在に折り曲げが可能でしかも復元力の強いものであれば、有効に利用できる。

4. 図面の簡単な説明

オ 1 図は従来のフラット・ピックの斜視図

オ 2 図は従来のサム・ピックの斜視図

オ 3 図は本考案のオ 1 実施例を示す上面図

オ 4 図は本考案の使用形態を示す斜視図

オ 5 図は本考案の使用状態を示す上視図

オ 6 図は本考案の使用状態を示す上視図

オ 7 図は本考案のオ 1 実施例の変形上面図

オ 8 図は本考案のオ 2 実施例を示す上面図

オ 9 図は本考案のオ 2 実施例の変形上面図

オ 1 0 図は本考案のオ 3 実施例を示す裏面図

(イ)フラット・ピック (ロ)サム・ピック

(A)(B)つめ (C)ベルト

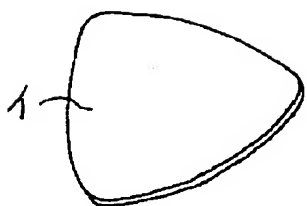
(1)(5)(5')(6)(9)(9')差し込み口 (2)(2')(4)(7)(7')突起部分

(3)抜け口 (8)止め口 (10)スポンジ

実用新案登録出願人 勝間田 善 則

図 面

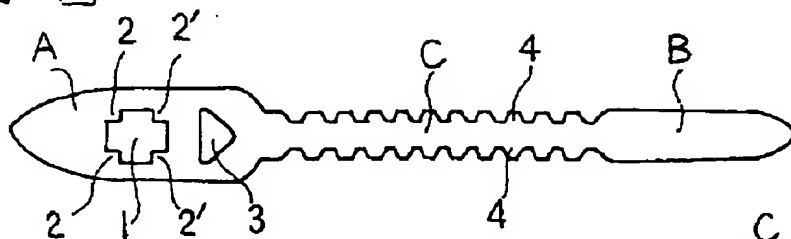
第1図



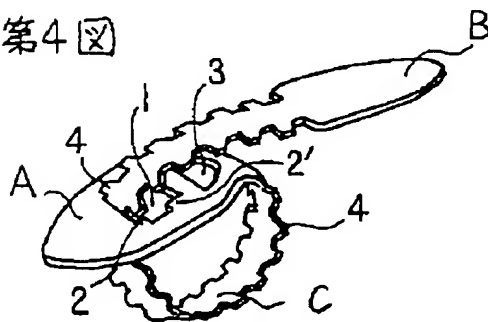
第2図



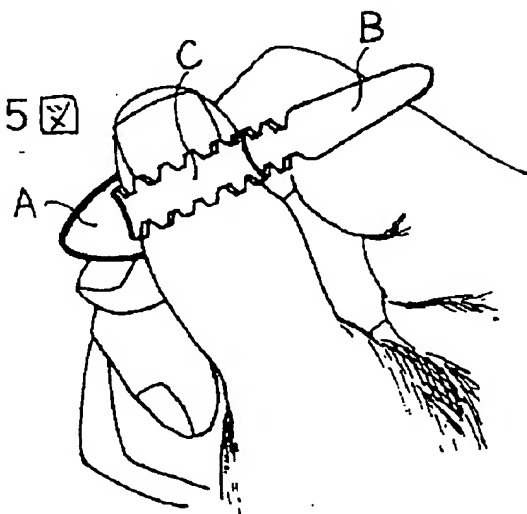
第3図



第4図



第5図



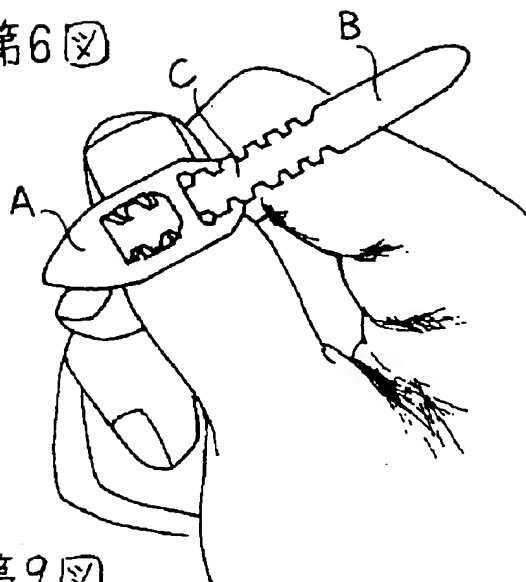
151326

//

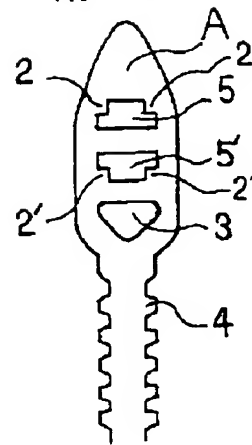
実用新案登録出願人

勝間田 善則

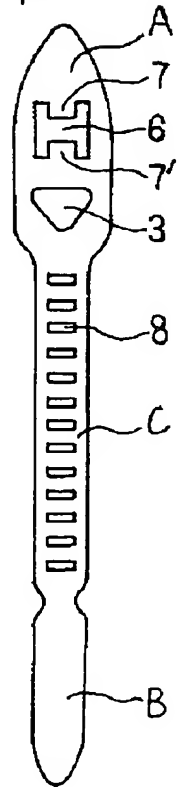
第6図



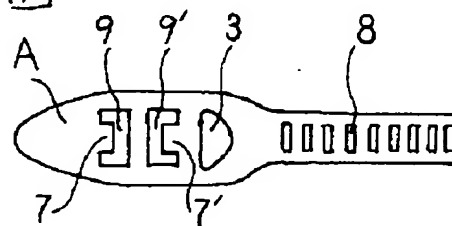
第7図



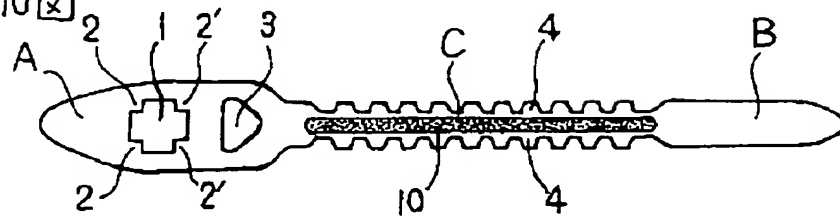
第8図



第9図



第10図



151326 3/2

實用新案登録出願人

勝間田善則